

(1) 調査の目的

児童生徒の教科における学習状況の調査とともに、学習に関する意識等の傾向がどのようなものであるかを把握、分析し、児童生徒が主体的に学ぶ力や望ましい学習習慣を身に付けるための教科指導等の改善の方向を見い出す。

(2) 設問の意図

設問1 「勉強は好きですか。」

勉強がどの程度好きかという意識を問うことで、児童生徒の学習することに対する受け止め方の状況を把握する。

設問2 「自分から進んで勉強しようとする気持ち（意欲）がありますか。」

勉強に向かう意欲の高さを問うことで、児童生徒の学ぶ意欲や主体的な学習態度の状況を把握する。

設問3 「どんなときに、自分から進んで勉強しようとする気持ちになりますか。」

どのような授業等が行われたときに児童生徒が進んで勉強をしようという気持ちになるかを問うことで、児童生徒が自ら学ぶ意欲をもち、主体的に学習に取り組める状況を把握する。

設問4 「学校の授業がどの程度分かりますか。」

学校の授業がどの程度分かるかを問うことで、児童生徒の学年進行における理解の状況を把握する。

設問5 「あなたは、勉強によってどんな力(小学校)学力(中学校)を身に付けることが大切だと思いますか。」

勉強によってどんな力を身に付けることが大切であるかを問うことで、児童生徒自身が、これからの社会に生きていく上で大切と考えている学力に関する状況を把握する。

設問6 「土曜日、日曜日を除いた日で、学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。」

家庭での学習時間(塾等の学習時間を含む)を問うことで、児童生徒の家庭などにおける学習習慣の状況を把握する。

設問7 「土曜日、日曜日を除いた日で、学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい読書をしますか。」

家庭での読書時間を問うことで、児童生徒の学年進行に伴う読書に親しむ習慣の状況を把握する。

設問8 「ふだん家でしている勉強では何を活用していますか。」

ふだん、家でどのような方法で勉強しているかを問うことで、児童生徒が学校等で身に付けている学習の仕方の状況を把握する。